

教養部会教授 安藤 淑江

1. 研究活動

2009年度は論文の発表はなし			研究テーマ 軍記物語における歴史認識と表現について 学生に考える力をつけさせる文学教育のありかたについて
-----------------	--	--	--

2. 教育活動（教育実践上の主な業績） 大学院授業担当 有 無

授業科目 文学		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
講義の要点を質問形式でまとめた配付資料「今日のポイント」を活用し、学生には学習内容の確認の機会とし、あわせて教員には学生の理解度を把握し授業へのフィードバックを行えるようにした。	古文の苦手な学生を念頭に、言語・制度の差を埋める、ビジュアルでわかりやすい教材を作製し、毎年更新している。	
授業科目 文化史		
◆前期 □後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
講義の中で、各地の伝統芸能の実例の中から古態を存するもの、あるいは復元の試みの映像をピックアップして見せている。記録しか残らない古代の芸能の歴史を具体的なイメージの中で再現すると共に、学生の音楽的・美術的体験の幅を拡大できるよう工夫している。	授業の概要をより確実に理解できるようにすることを目標に、わかりやすい教材の作製を行なっている。資料は毎年更新している。	
授業科目 教養講座（人間）		
□前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
授業内での体験・作業・練習を積み重ねていく事を通して、「変体仮名」が読めるようになり、日常使う文字である「仮名」の歴史を体験的に修得できるように授業展開している。	授業でも有効に活用でき、欠席者には自習も可能な教材を作製している。教材は毎年更新している。学生には欠席した場合でも必ず自習し提出を求めることで、所期の効果をあげている。	

3. 学会等および社会における主な活動